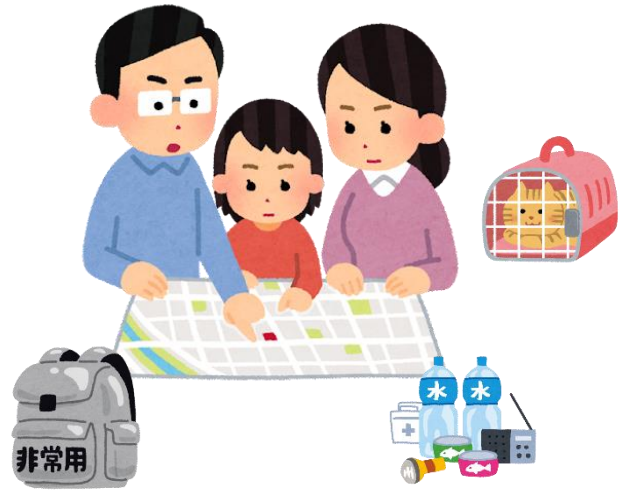


ペットの同行避難について 〈ハンドブック〉



記入後は、ペット用非常持出袋に入れて、いつでも持ち出せるようにしてください。

裏表紙

飼い主の情報

写真

飼い主とペットと一緒に写っている写真を貼ると、飼い主であることを証明することができます。

住所：〒

氏名：

電話番号：

いつ起こるか分からない災害。災害時にペットと安全に避難し、安心して過ごすための手引きとして作りました。大切なペットを守るために、日頃準備できることを確認し、防災ペット対策について考えてみましょう。

開成町

表紙

【避難所以外の避難先の検討】

ペットと一緒に避難する場合は、避難所への避難に限らず、あらかじめ避難先を複数決めておくことが大切です。

開成町では同行避難できる避難所は、以下の一部の広域避難所で受入れることとしています。

○町の受入場所

- ・開成小学校
- ・開成南小学校
- ・文命中学校

避難所ではペット専用場所を設けており、飼い主と離れて過ごしていただくこととなりますので、親戚宅などなるべくペットと一緒に過ごせる避難先なども検討しておきましょう。

○他の避難先（方法）

- ・親戚や友人の家などへ避難
- ・車中泊避難
- ・ペットを受け入れる施設（ペットホテル等）へ避難
- ・在宅避難（自宅が安全な場合）



【ペットの同行避難について】

同行避難とは、災害時に飼い主とペットと一緒に避難所等に避難することを指します。

※同行避難では、人の避難場所にペットは入れません（補助犬は対象外）。

同行避難を受入する条件は以下のとおりです。

受入条件

- 犬（中型犬・小型犬）、猫、うさぎ、モルモットなどの哺乳類の小動物（毒がないこと）であること。
- 人や他の動物に吠える、咬む、引っ掻くなどの危害を加えることがないよう、しつけがなされたものであること。
- 飼い主所有のケージで管理できること（鍵をかける等ケージから逃げ出さないよう注意をすること）。
- 屋外での管理となることを承諾できること。
- 飼い主の責任で管理（餌、糞尿の処理等）できること。

1

✂きりとり

【必要な備蓄品の用意】

避難所及び避難先では、ペットに対する対応は飼い主の責任になります。ペットの飼養に必要な物は事前に準備しましょう。

必要な備蓄例

日頃の必需品

- ケージ
- ペットフード・飲料水（少なくとも5日分）
- 医薬品・療法食
- 食器
- タオル
- ペットシート
- 排泄物の処理用品
- 糞尿や毛などを処理するためのビニール袋 など



避難生活であると便利なもの

- 首輪（予備）と伸縮性のないリード
- ガムテープ（ケージの補修など多用途に使用可能）
- 使い慣れたおもちゃ など

3

ペットの情報

写真

ペットの外見や特徴がわかる写真を貼りましょう。

名前： _____ 種類： _____

毛色： _____ 性別： オス・メス

登録番号（犬）： _____

マイクロチップ： No. _____

その他特徴 _____

6

【健康管理としつけ】

避難所での生活によるペットのストレスを軽減するため、普段から様々な音や物、人などに慣らしておくことが望ましいです。また、普段からワクチン接種や寄生虫の駆除などをしっかり行うとともに健康状態に注意し、体を清潔に保ちましょう。

基本的なしつけ

- 「おいで」「おすわり」「まで」などのしつけ
- 決められた場所で排泄
- 人と動物との接触に慣らす
- キャリーバックやゲージに慣らす
- 様々な音や物に慣らす
- 不必要に吠えない・鳴かない



4